

報道関係者 各位

令和5年8月17日

【照会先】

労働基準部 健康課

課長 阿部 佳之

労働衛生専門官 深町 幸治

電話:092(411)4549 (直通)

依然として暑さは続きます。熱中症に要注意！

～ 午後の時間帯に多発 ～

熱中症予防のため、福岡労働局（局長 おのでら のりこ 小野寺 徳子）と管内各労働基準監督署は、5月から「**STOP！熱中症！！クールワークキャンペーン**」を展開しているところです。

熱中症は屋外・屋内を問わず発生しており、過去5年間の熱中症による死傷者数は屋内と屋外ほぼ同じ割合となっています。したがって屋外のみならず、直射日光を浴びない屋内でも、熱中症予防対策が必要です。時間別の熱中症の発生状況を見ると11時台、14時台～17時台の発生が多いものの、どの時間帯でも発生しているところです。

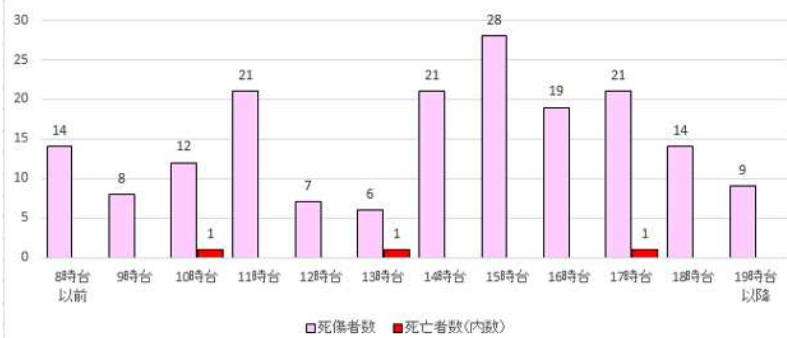
梅雨も明け、福岡管区气象台の3か月予報（7月25日発表）によると、九州北部地域の8月から10月の平均気温は平年より「高い」とされています。

お盆も過ぎ、残暑の時期を迎えますが、気温や労働者の健康状況などを把握し、暑さ指数（WBGT値）に応じた対策をとり熱中症の発生を予防しましょう。

屋内外別の熱中症による死傷者数
（平成30年～令和4年までの累計）



時間別の熱中症による死傷者数
（平成30年～令和4年までの累計）



「暑さ指数」とは、気温、湿度、風速、輻射（放射）熱を考慮した暑熱環境によるストレス評価を行う暑さの指数。

添付 「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」リーフレット

熱中症の対策を理解していただけるよう、「働く人の今すぐ使える熱中症ガイド」を公表しています。
(<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>)